

# 進む住宅の再生可能エネルギー利用 気候変動対策の切り札になるか

# 気になる2026年度住宅取得支援策



## INDEX

- |                      |                      |               |
|----------------------|----------------------|---------------|
| 2 セキスイハイム 1          | 8 積水ハウス              | 14 ポラスグループ    |
| 3 再エネ拡大の切り札「ペロブスカイト」 | 9 全宅連の「2025年 住宅居住白書」 | 15 セキスイハイム 2  |
| 4 三井ホーム              | 10 東急 Re・デザイン        | 16 パナソニックホームズ |
| 5 気になる26年度税制と住宅取得支援策 | 11 ミサワホーム            |               |
| 6 大和ハウス工業            | 12 旭化成ホームズ           |               |
| 7 2025年 都道府県「地価調査」   | 13 住友林業              |               |

### 編集部からのお願い

この新聞は、マイホーム購入や賃貸経営等をお考えのユーザーの皆様向けに無料で配布しているフリーペーパーです。貴社・貴所にご来店されるお客様にご自由にお取りいただける場所に置いていただければ幸いです。また、お届けする部数を増やすなどのご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いします。

問い合わせ先 住宅産業新聞社  
 TEL: 03-6233-9611  
 jutaku@housenews.jp

長く、そして猛暑だった今年の夏もようやく終りを迎えた。気象庁は、「2024年の日本の平均気温が、統計開始以降で最も高くなった」と発表したが、今年はそれ以上の可能性もある。四季それぞれで楽しみのある我が国も近年は気候変動の影響で四季ではなく夏と冬の二季になってしまふという話も。

気候変動対策として、二酸化炭素などの排出量を抑える必要があることから、国は住宅の省エネ化や太陽光発電などの搭載を推進している。中でも期待されているのが「ペロブスカイト太陽電池」だ。軽く柔軟性があるのが従来の太陽光発電装置との大きな違いで、壁面やアールのついた屋根など、これまで設置できないような場所への設置が可能となる。

8月末に26年度予算や税制改正のベースとなる予算の「概算要求」と税制の「改正要望」が各省庁から提出された。その中にもペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出などの項目も盛り込まれている。

この新聞を手にとっていただいた新築住宅の取得をお考えの皆さんの参考になるよう、ペロブスカイトなど再生可能エネルギーと予算・税制の中から住宅取得支援策として要望されたものを紹介、および都道府県地価、25年住宅居住白書についておとどけする。



# 想像してください。 クリーンな太陽エネルギーで 過ごす毎日を。

昼間は、太陽光発電システムで発電した電気で生活。

夜は蓄電池に貯めた電気で暮らす。

セキスイハイムは、昼も夜も、クリーンな太陽エネルギーで過ごす、  
エネルギー自給自足の暮らしをご提案します。



世界にまた新しい世界を。 **SEKISUI** 積水化学工業株式会社 住宅カンパニー  
A new frontier, a new lifestyle. 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4 (オークラブステージタワー)

私たちセキスイハイムグループは、お客様情報の適正な取り扱いに努めています。下記URLをご参照くださるか、お電話にて窓口までお問い合わせください。  
▶ホームページ: [www.sekisuiheim.com](http://www.sekisuiheim.com) ▶お問い合わせ先: 0120-369-816

私たちの日々の仕事や生活はエネルギーを基盤として支えられている。今では当たり前のように身近な存在となったスマートフォンも動力源はこのエネルギーだ。イギリスで18世紀後半に始まった産業革命は石炭を主役に綿織物業や蒸気機関の開発をもたらした。以後主要エネルギーは石油・電気に移行し、今日ある世界の発展を支え続けている。

しかし、石炭・石油・天然ガス等は有限な化石燃料であり、それらを使用してきたことで排出されてきた温室効果ガスは地球規模の気候変動をもたらし、世界各地で異常気象による大災害が起きていることは周知のとおりだ。

そこで近年、地球温暖化のストップ役として注目されているのが「再生可能エネルギー（以下、再エネ）」だ。再エネは「エネルギー源として永続的に利用することができるもの」と政令で定められており、太陽光（熱）・風力・水力・地熱・その他自然界に存する熱・バイオマスがそれに該当する。

資源エネルギー庁によると、日本の2023年度の発電電力量は9854億kWhで、最も大きなシェアを占めるのが天然ガス（32・9%）で、次いで石炭（28・5%）、石油など（7・3%）。これらの化石燃料の発電割合は約68%だった。一方、再エネをはじめとする非化石燃料の割合は約31%となり、東日本

柱にペロブスカイトを設置し「TOKYO」の文字に点灯

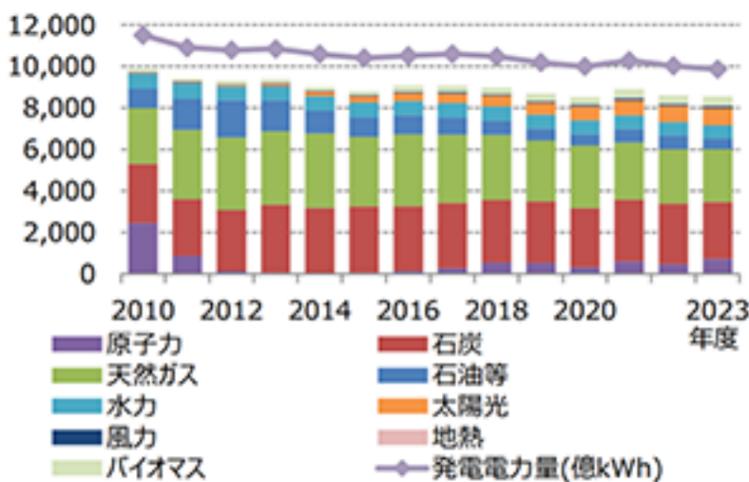


東京都のペロブスカイト太陽電池に関するロードマップ



※上記2点とも東京都資料より抜粋

PJ、億kWh 発電電力量と発電用エネルギー投入量



大震災以降はじめて30%を超えた。

内訳は、太陽光発電が9・8%で最も多く、以下水力発電が7・6%、バイオマス発電4・1%、風力発電1・1%、地熱が0・3%と続く。特に太陽光発電に関しては東日本大震災から約10年で約22倍の発電電力増加となっている。現在、国土面積当たりの太陽光設備容量は概ね5GW/年のペースで進んでおり、世界主要国の中では最大級と

# 再エネ拡大の切り札「ペロブスカイト」

なっている。ただ大規模太陽光パネルの設置などで環境問題や安全面、さらに廃棄に伴う回収法の確立など普及拡大と共に課題も露呈してきており、再エネのけん引役として官民一体となった問題解決のための知恵絞りも同時に求められている。

## 官民が連携し実装検証 ペロブスカイトの製品化

そして今、「日本の再エネ拡大の切り札」と言われているのが「ペロブスカイト太陽電池」だ。言いづらく、聞きなれない名前だが200年前ロシア人の鉱物学者レフ・ペロフスキーが発見した鉱物に由来している（東京都では公募により「Airyソラー」の愛称を使用することが決定）。現在、官民協力して実装実験を重ねている段階で、製品として生産開始されるのは来年以降の予定だ。

ペロブスカイト太陽電池のメリットは①製造コストの低減②軽量化と柔軟性③弱い光での発電能力④材料の国内調達、など。材料にレアメタルを使用せず、比較的安価なもので製造可能で、主要材料のヨウ素は日本が世界第2位の生産量を誇る。フィルムに加工できるため、ビルの壁面、窓、曲面など様々な場所への設置が可能だ。200〜1000ルクスといった低照度でも発電ができるため、屋内のIoT機器の電源など幅広い活用が期待されている。


**三井ホーム**  
 MITSUI HOME

# 木造で、 CO<sub>2</sub>は 減らせる。<sup>※1</sup>

あなたは知っていますか？

じつは、建物をつくるとき、鉄やコンクリートより、  
木で建てるほうが、CO<sub>2</sub>排出量は少ないのです。<sup>※2</sup>

そして、木はCO<sub>2</sub>をぐんぐん吸収して育ったのち、  
木材になっても炭素をストックしつづけてくれます。

木の建物は、いわば、炭素の貯蔵庫。<sup>※3</sup>

これまで250,000棟以上の木造建築をつくってきた

三井ホームの累計炭素固定量は、

およそ378万トンと推定されます。<sup>※4</sup>

これは、杉の木に換算すると748万本、<sup>※5</sup>

東京ドーム2,131個分の森林面積が

貯蔵する炭素量にあたります。

私たちは、工法を構造から進化させることで、

これまで木で建てられなかった大規模建築物まで、

どんどん木造に変えていきます。

これからは、木の施設や住まいを選ぶことも、

社会貢献のひとつになっていく。

木造建築の可能性を広げることで、

脱炭素に貢献していく、三井ホームです。

木で建てれば、街は森になる。  
三井ホームの木造建築

※1 ①木造建築は、鉄骨造やRC造と比べ建築時のCO<sub>2</sub>排出量が少ないこと。  
②木材は、炭素を固形として長期間貯蔵することで、大気中のCO<sub>2</sub>濃度上昇の抑制に役立つこと。③木材は、高断熱・高气密性により住んでいる間の冷暖房の消費エネルギーを抑えることができること。以上の理由から、建築物における木材の利用を促進することによって、CO<sub>2</sub>排出量を抑制できることを表す。※2 自社MOOXION INAGIを鉄筋コンクリート造で建設した場合との比較。※3 三井ホームグループによる実績。(2023年3月末時点) ※4 国土交通省「令和4年度 住宅経済関係データ」([https://www.mlit.go.jp/statistics/details/t-jutaku-2\\_ik\\_000002.html](https://www.mlit.go.jp/statistics/details/t-jutaku-2_ik_000002.html))日本の減失住宅の平均築後年数38.2年より、1987年3月31日以前に引渡しし、物件はすべて現存しているものと仮定して計算。(2023年3月末時点) ⑤ 林野庁ホームページ「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」に基づく試算。<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/meruka.html> (2023年3月末時点) ※5 林野庁ホームページ「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」に基づく試算および炭素貯蔵量計算シートによる換算。

& EARTH with WOOD

お問い合わせは  
☎ 0120-94-4331 10:00～17:00  
(土・日・祝日を除く)

三井ホーム株式会社 本社 〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-6 新木場センタービル(総合受付9階)  
木造建築による炭素固定量を、WEBサイトで公開中。

三井ホーム 木造建築



さあ、街から未来をかえよう

三井不動産グループ  
MITSUI FUDOSAN GROUP

2026年度の税制要望の中で、もっとも期待されているものの一つが、「住宅ローン減税の延長」だろう。住宅ローン減税とは、住宅ローンを利用して住宅の新築・取得等をした場合、12月末時点のローン残高の0.7%を所得税から最大13年間控除する制度のことだ。

この制度は内容の変更を行いつながりながら長年続いているものではあるが、今年の12月末が適用期限になっているのだ。国土交通省は、住宅価格の高騰等で住宅取得環境が厳しくなる中でも、多様化する居住ニーズへの対応、カーボンニュートラルなどを指すうえで必要と判断し、制度の延長が盛り込まれた。

正式決定は、年末に出される税制改正大綱を経て来年になるが、まずは要望されたことが住宅取得をお考えの方には朗報だろう。ただし、延長された場合も内容が変更される可能性はある。

現行制度で例を示すと年末の借入残高が3千万円の場合、翌年に最大21万円が控除(還付)される。ここで「最大」と書いたのは、それぞれが1年間に支払った所得税額までしか還付されないから。所得税額が15万円であれば、それが控除額となる。しかし、所得税で控除しきれなかった分は9万7500円を限度に住民税から控除される仕組みだ。なお、子育て世帯や若者夫婦世帯については優遇措置も設けられている(図参)

### 住宅ローン減税について（現行制度の場合）

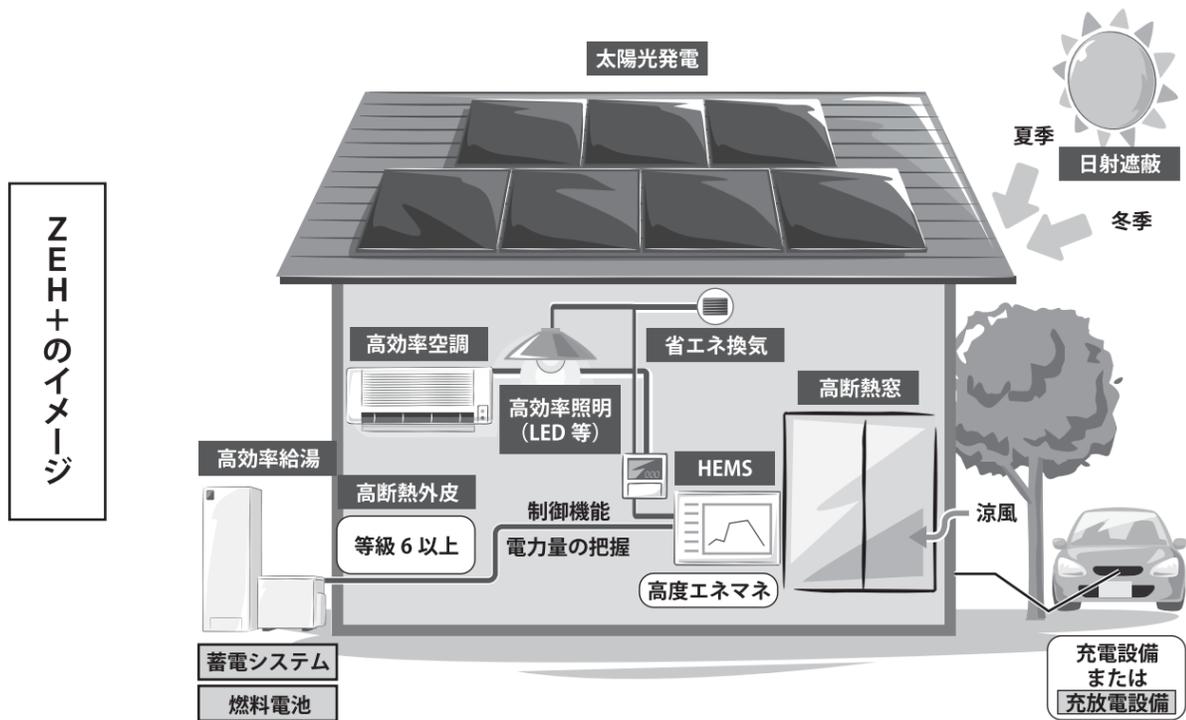
住宅ローン減税とは毎年末のローン残高等に応じて所得税を減税する制度。下図の最大控除額は13年間の合計。13年間とも年末の借入残高が5,000万円あった場合、5,000万円×0.7%×13年=455万円となる。

控除率＝一律 0.7%

子育て世帯＝年齢19歳未満の扶養親族を有する世帯  
若者夫婦世帯＝年齢40歳未満であって配偶者を有する者または年齢40歳未満の配偶者を有する者

<入居年>		2025年	子育て世帯・若者夫婦世帯	子育て世帯・若者夫婦世帯以外
借入限度額	新築住宅	・長期優良住宅 ・低炭素住宅	5,000万円 【最大控除額合計 455万円】	4,500万円 【409.5万円】
		・ZEH水準 省エネ住宅	4,500万円 【409.5万円】	3,500万円 【318.5万円】
		・省エネ基準 適合住宅	4,000万円 【364万円】	3,000万円 【273万円】
控除期間	新築住宅	13年		
所得要件	2,000万円以下			
床面積要件	50㎡以上 <small>合計所得金額が1000万円以下の世帯は40㎡以上に緩和される</small>			

# どうなる2026年の住宅取得支援策



※当新聞に記載している全ての内容の詳細については、税理士などの専門家にご確認ください

他の税制では、固定資産税の特例も住宅ローン減税と同様の理由で延長が要望された。これは現行制度では戸建て住宅を新築した場合、建物の固定資産税が3年間2分の1になるもの。国土交通省は2千500万円の住宅を新築した場合、3年間で約27万円の負担軽減効果があると試算している。また、認定長期優良住宅であれば期間が5年に延びる。

予算措置は3省連携 ZEH・ZEH+に補助  
予算の概算要求では、住宅の脱炭素化促進事業として、環境省・経済産業省・国土交通省の3省が連携し、新築戸建て住宅のZEH・ZEH+化等を支援する。補助額は地域などによって1戸あたり45万円〜90万円が要求された。

ZEHとは、快適な室内環境を保ちながら、住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、1年間で消費する住宅のエネルギー量が正味(ネット)で概ねゼロ以下となる住宅のこと。

ZEH+はZEH以上のさらなる省エネと断熱等性能等級6以上の外皮性能を満たしたうえで、①再生可能エネルギーの自家消費の拡大措置、②高度エネルギーマネジメントの要素のうち1つ以上を満たす必要がある。

もっと、あなたらしく。  
ずっと、美しく。

——ハウジングマイスターとつくる——  
大和ハウスの注文住宅



ハウジング  
マイスターが語る、  
「設計への想い」。

ハウジングマイスター  
藤井 麻貴子  
一級建築士  
インテリアプランナー



“理想”を描きあげる、  
ハウジングマイスター



Top Designer  
by ダイワハウス  
(Instagram)

“夢”が広がる、  
豊富な建築事例



お客さまに寄り添って。  
敷地と向き合って。

お客さまの理想を叶えるだけでなく、お客さまの期待を超えていく。そんな家づくりを実現するために、大和ハウスではより優れた設計力やコミュニケーション力を有する「ハウジングマイスター」というトップデザイナーが在籍している。今回はハウジングマイスターとして豊富な実績を持つ藤井に、設計への想いについて聞いた。

家づくりの最初のステップで大切なこと。それは「お客さまに寄り添い、敷地と向き合う姿勢」と藤井は語る。「世間話」をするような感覚でお客さまと対話を重ねて、暮らし方や趣味嗜好、隠れたニーズを汲み取っていきます。同時に「敷地の読み解き」も欠かせません。周辺環境や高低差、日照や風通しなどを把握したうえで、お客さまの理想と敷地の特性を結びつけながら、暮らしを豊かにする住まいを描きます。

美しさと豊かさを  
追い求めて。

設計にあたって藤井が常に意識しているのは、「自然との調和」と「内外のつながり」だ。「外観は外構の植栽と一体になった美しさを大切にしています。壁面に樹々の陰影が描かれ、時とともに移ろう。そして、街と行き交う人に潤いをもたらす。そんな表情を生み出したいからです」

フルサッシを通して、伸びやかな開放感と庭と溶け合うような心地よさを演出。さらに、深い軒や屋内につながるテラスによって「外でもあり内でもある暖かな空間」をつくり出す。「外からの視線を感じることもなく、家の中で光、緑、風にいつも包まれます。また、天井高2m72cm※を基準に、1階の床を掘り下げたり、天井の一部を高くしたりすることも大和ハウスでは可能です。自然の潤いと立体的な広がりがある。そんな豊かな空間をご提案しています」

日々の暮らしやすさも。  
これからの心地よさも。

お客さまの暮らし方にあった生活動線や収納計画を考え抜くこともハウジングマイスターには求められる。「家事の負担を減らせる家は、自分の時間や家族との時間が増える家だと思えます。だからこそ、住まう方一人ひとりが、楽に暮らせる家づくり」を日々追求しています。

一方で、昨今の気温上昇や夏の長期化も踏まえて、藤井は大和ハウスの優れた断熱性を活かしながら、深い軒を積極的に取り入れている。「直射日光を巧みに遮りながら、心地よい光を住まいに届けてくれます。さらに視線が外へと抜けるので、実面積以上の広がりを実感できるし、印象的な外観美を演出できます」

もっと住まう人らしく、ずっと美しい住まいを。そのために藤井はハウジングマイスターとして、細部までこだわり抜いた最高のプランを今日も描いている。

※天井高は2m40cm、2m72cm、さらに2m80cm、3m8cmと3m16cm(1階のみ)の仕様を選ぶことができます。天井高については間取りや建設地、建築基準法(法令)等により、対応できない場合があります。



大和ハウス工業株式会社〈住宅事業本部〉  
東京本社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112 Tel 03-5214-2172  
www.daiwahouse.co.jp

国による2025年都道府県地価調査の結果が発表された。住宅地の地価は、1・0%上昇しており、4年連続で地価が上昇し、上昇幅も大きくなっている結果となった。前年は0・9%の上昇だった。これは全国の平均値。

調査を行った国土交通省は「景気回復が緩やかに進み、全体としては上昇基調が進んでいる」と説明した。人口が減る中で、過疎地も多いことを考えると、地価が緩やかであって上昇したということは、つまり住宅地として便利などところはより高い価格上昇が起きているのだ。

住宅地は、住宅需要が堅調で、地価の上昇が続いている。リゾートでも別荘などのほかに、リゾート従業員向けの住宅需要があり、全体的な地価上昇につながった。また鉄道路線の延伸など利便性向上と子育て支援といった施策が組み合わさることによって転入者が増え、地価が引き上げられているところもある。

### 富裕層が牽引する 東京圏と大阪圏

地域別の変動率（カッコ内は前年）をみると、東京圏が3・9%の上昇（3・6%の上昇）、大阪圏が2・2%の上昇（1・7%の上昇）。同省によると、東京圏、大阪圏の地価上昇は主に富裕層が上昇をけん引しているというが、周辺部でも地価の値上がりが目立ち、人気エリアは広

都道府県別地価（住宅地）の変動率（単位：%）

	25年	24年		25年	24年
北海道	▲0.2	0.2	兵庫県	1.5	1.2
青森県	▲0.4	▲0.4	奈良県	▲0.7	▲0.7
岩手県	▲0.2	▲0.2	和歌山県	▲0.6	▲0.6
宮城県	0.9	1.4	鳥取県	▲0.6	▲0.7
秋田県	▲0.4	▲0.6	島根県	▲1.0	▲1.0
山形県	▲0.2	▲0.2	岡山県	▲0.2	▲0.3
福島県	▲0.4	▲0.3	広島県	0.4	0.2
茨城県	1.2	0.7	山口県	▲0.1	▲0.1
栃木県	▲0.3	▲0.4	徳島県	▲1.1	▲1.1
群馬県	▲0.4	▲0.5	香川県	▲0.3	▲0.4
埼玉県	1.5	1.6	愛媛県	▲1.0	▲1.2
千葉県	3.3	3.2	高知県	▲0.5	▲0.5
東京都	5.6	4.6	福岡県	2.7	3.8
神奈川県	3.3	3.2	佐賀県	1.3	0.7
新潟県	▲1.0	▲1.1	長崎県	0.0	▲0.2
富山県	▲0.3	▲0.4	熊本県	0.9	1.0
石川県	0.6	▲0.3	大分県	1.2	0.8
福井県	▲0.5	▲0.7	宮崎県	0.2	0.0
山梨県	▲0.7	▲0.9	鹿児島県	▲1.1	▲1.1
長野県	0.2	▲0.2	沖縄県	5.7	5.8
岐阜県	▲0.8	▲0.8	全国	1.0	0.9
静岡県	▲0.1	▲0.3	三大都市圏	3.2	3.0
愛知県	1.6	2.3	東京圏	3.9	3.6
三重県	▲0.2	▲0.3	大阪圏	2.2	1.7
滋賀県	0.2	▲0.2	名古屋圏	1.7	2.5
京都府	1.2	1.1	地方圏	0.1	0.1
大阪府	2.7	2.0	地方四市	4.1	5.6



都道府県別 平均価格 「住宅地」TOP10（円/㎡）

東京都	466,400
神奈川県	205,200
大阪府	166,100
埼玉県	126,100
愛知県	119,900
京都府	117,800
兵庫県	117,800
千葉県	94,900
福岡県	75,100
沖縄県	74,900

# 地価上昇、一部落ち着きも

### 土地の価格あれこれ

**公示地価**：国土交通省が調査する一般の土地取引の指標となる価格（地価公示） 1月1日時点の価格を3月に公表

**基準地価**：都道府県が調査する土地売買の目安となる価格（都道府県 7月1日時点の価格を9月に国土交通省がまとめて公表地価調査）

**相続税路線価**：国税庁が発表する相続税や贈与税の計算基準となる価格 1月1日時点の路線に面する土地価格を7月に公表 公示地価を「100」とすると概ねその「80%」

**固定資産税評価額**：市区町村が固定資産税を計算するために評価する価格 3年に一度見直される。公示地価を「100」とすると概ねその「70%」

**実勢価格**：実際に土地の売買が行われる価格のこと。公示地価より高くなることが多いが、諸条件により上下幅は大きい

がっている。ただ、コロナ禍からの回復が、東京圏や大阪圏よりも早期に始まった名古屋圏は富裕層の取り引きが一巡。名古屋圏は、1・7%の上昇（2・5%の上昇）で上昇幅が縮小した。

地点によっては 落ち着きみられる

「地方四市（札幌市、仙台市、広島市、福岡市）」は、4・1%の上昇（5・6%の上昇）と依然として高い率ではあるものの、伸び幅は縮小した。札幌市は1・4%の上昇（3・6%の上昇）、仙台市は5・1%の上昇（6・3%の上昇）、福岡市は7・2%の上昇（9・5%の上昇）と、上昇幅が縮小。他市よりは伸びが緩やかな広島市のみ1・8%の上昇（1・7%の上昇）となったが、これまで高い成長率を続けた地方四市にも、落ち着きの兆しが見える。

札幌市では、中心地では依然高い地価上昇となっているが、外縁部では様子見もあるという。仙台市や福岡市も住宅や土地の取り引きは、一部で鈍化。すり鉢状の地形となっている広島市は、中心部の平坦で利便性の高い地域での需要は堅調だが、丘陵部は下落傾向が見てとれる。全体として、人気の地点はますます値上がりし、少し足を延ばすところでは差が出ているようだ。



SEKISUI HOUSE

# 積水ハウスは、 「長く住み続けたい家」へ

これからの時代、  
本当に必要なものってなんだろう。

そんな思いから、安全や環境に配慮した  
「長く住める家」を供給してきた積水ハウスでは、  
新たなデザイン思想「life knit design (ライフ ニット デザイン)」に  
基づく家づくりを進めています。

何が好きか、何に惹かれるか、何を心地よいと感じるか。  
そんな一人ひとりの“感性”を住まいへと編み込み、  
暮らすほどに愛着が増していく「長く住み続けたい家」。

季節の移ろいを感じながら暮らせる住まいは、  
人生に豊かさを与えてくれる  
感性の器のような場所にもなりうる。

そう信じる私たちは、この新しい家づくりを通して、  
グローバルビジョン「[わが家]を世界一幸せな場所にする」を  
実現していきます。



life knit design

<https://www.sekisuihouse.co.jp/kodate/lkd>



全国宅地建物取引業協会連合会（全宅連）は、全国の20歳から65歳までの男女5000人を対象に、住宅に関する意識調査を実施。「2025年 住宅居住白書」として、「不動産の日」である9月23日に公表した。

今回のアンケートで明らかになったユーザーの現状認識は「物件の高騰」だった。しかし一方で、今は「買い時だと思ふ」が20・8%（昨年比1・6ポイント増加）と、過去5年では最高の数字となった。理由の1位は「今後、住宅ローンの金利が上昇しそう」である。

「家を買う」「家を建てる」場合には、子供の成長や学校等の教育環境、通勤時間など「家族の事情」が大きく絡んでいる。そのため現実には決断は待ったなしの状態だろう。となれば、ローン金利が低いうちに「買う」という判断にも頷ける。

さて、実際に行動を開始し、物件を選ぶ際に、気を付けていることを見ると、3割以上が、「ハザードマップをチェックするようにした」と答えているのに加え、それぞれ3割前後の人が「免震・耐震について考えるようになった」「地盤について考えるようになった」と回答。

大規模地震ばかりでなく、地球温暖化の影響と思われる気象災害が増えていることを受けてか、災害に備えた地域情報も求められるようになっていく。

# 「今が買い時！」が直近5年で最高値に

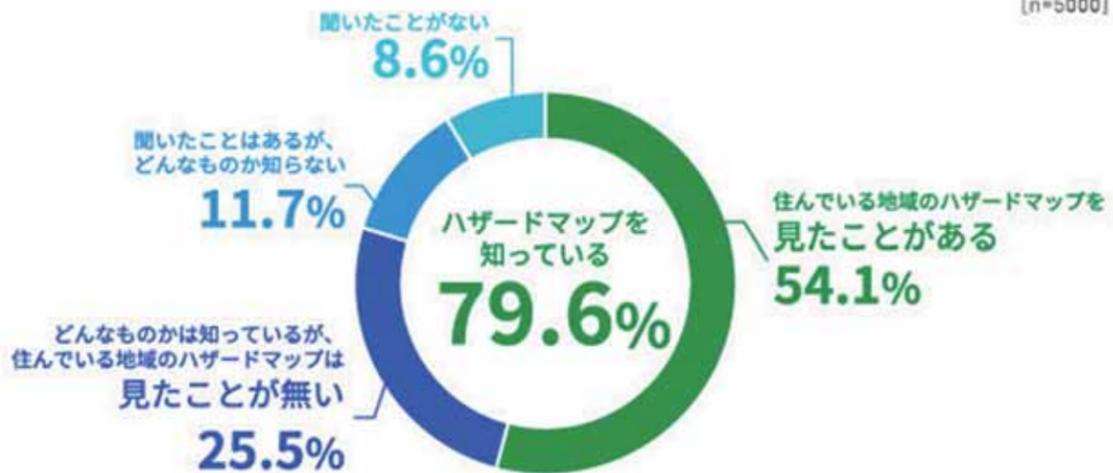
いま不動産は買い時だと思いますか



「買い時だと思う」方々の理由

- 1位 今後、住宅ローンの金利が上昇しそうなので(今の金利が低いので) **44.4%**
  - 2位 住宅ローン減税など住宅取得の為に支援制度が充実しているから **29.8%**
  - 3位 不動産価値(価格)が安定または上昇しそうだから **21.7%**
  - 4位 自分の収入が安定、または増加しているから **3.0%**
  - 5位 その他 **1.2%**
- [n=1042]

ハザードマップについてどの程度知っていますか



※全国宅地建物取引業協会連合会の資料より抜粋

## 業者選びの鍵は 正直な物件説明

また長期優良住宅やZEH住宅、GX志向住宅など、災害に強く、環境への負荷が低い住宅に関心も集まっている。一方で、昨年4月から始まった「建築物の省エネ性能表示制度」については、46・1%の人が「全く知らない」など、ユーザーの求めと、制度のミスマッチも浮かがる。

災害時の被害想定や、地盤といった専門的かつ地域密着型の情報を持つのが地元不動産会社だ。今回の調査でも「不動産会社からの提案、紹介」と「不動産会社のホームページ」で住まい探しをするという人が20%以上いた。

不動産会社に対する要望で「担当者にも最も希望すること」では2割の人が「メリットだけでなく、デメリットなどすべて隠さず情報を伝えてくれること」と答えているし、「取引で担当者にとどのようなサポートがあると安心できるか」という問いにも、46%の人が「物件の良い点だけでなく、注意点も正直に教えてくれること」と答えている。

このアンケートはユーザーの意識を調査したものだが、全宅連に属する不動産会社も、この結果を現場にフィードバックしなければ意味がない。ユーザーとしても、ここにある点を念頭において情報を収集し、購入に役立てていただきたい。

TOKYU Re・DESIGN

# リノベーションで、 少し特別な毎日に。

東急 Re・デザインの  
マンションリノベーション・パッケージ

# Re\_edit

リエディット

タイムレスなデザインで、永く快適に暮らせる住まいへ。

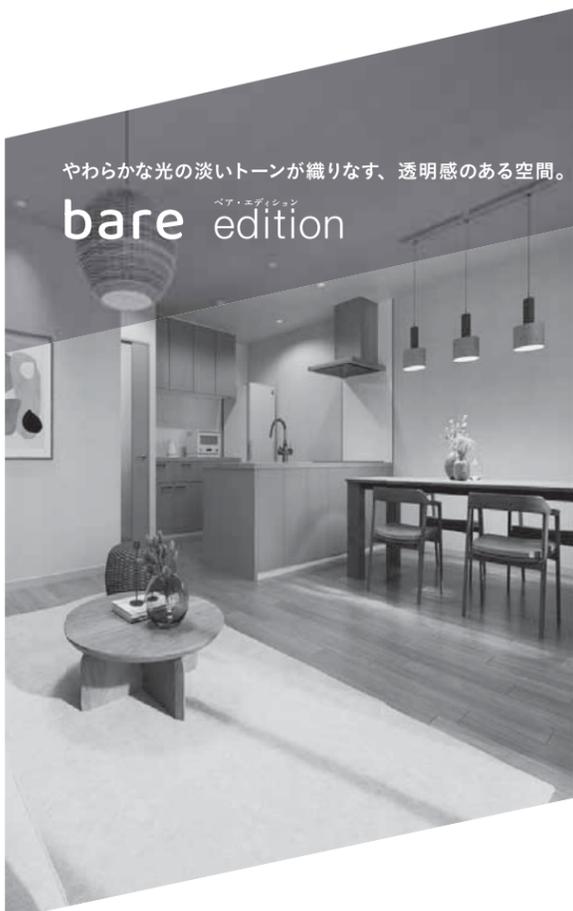
東急 Re・デザインの Re\_edit (リエディット) は、  
素材や色、質感にこだわった3つのエディションから選べる、  
マンションリノベーション・パッケージです。

暮らし心地の良さを大切にしながら、

住まいの美しさと機能性を両立。

長年のマンション管理で培ったリノベーションのノウハウと  
安心のサポート体制で、新しい暮らしに寄り添っていきます。

## 誕生



お問い合わせは 0120-935-109

営業時間 / 9:00 ~ 18:00  
※お問い合わせの際は「住宅産業新聞を見た」とお伝えください。



東急リデザイン リエディット 検索

# MISAWA

## 防災・減災住宅は、ミサワホーム。

ちょっとした揺れなのに、過剰に反応してしまう。豪雨のニュースに、家や家族が心配になる。

ミサワホームは、災害大国・日本のご家族に、ひとつ上の安全・安心をご提案します。

平常時から災害発生時、発生後まで3段階の防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP」。

ふだん快適に暮らせる住まいが、そのとき、避難所としての役割を果たしてくれます。

- 1st SAFETY SOLUTIONS 備えるデザイン
- 2nd SAFETY SOLUTIONS 守るデザイン
- 3rd SAFETY SOLUTIONS 支えるデザイン

# MISAWA-LCP

備える▶守る▶支える[防災・減災ソリューション]

MISAWA  
Life  
Continuity  
Performance



先進の防災・減災ソリューションを詳しくご紹介した「MISAWA-LCP」カタログを差し上げます。

HP ホームページ [www.misawa.co.jp/catalog/](http://www.misawa.co.jp/catalog/)

詳しくはWEBで

※当社では、お客様の個人情報を、建築・リフォーム工事、不動産取引に関する情報・サービス案内のお届け、訪問、各種プランのご提案、アンケート調査等の実施目的で利用いたします。その他詳細は、[www.misawa.co.jp/privacy](http://www.misawa.co.jp/privacy)をご覧ください。

新築事業 | スtock事業 | まちづくり事業 | 海外事業 | ウエルネス事業

MISAWA **ミサワホーム**

# HEBEL HAUS

ALL for LONGLIFE

自分らしい生き方に、  
住まいを合わせていく時代へ。

価値観やライフスタイルが多様化するいま、  
1つの住まいを家族代々住み続ける人もいれば、  
マンションから賃貸住宅へ、  
戸建住宅からマンションへ、  
ライフステージや目的に応じて住み替える人も  
いらっしゃいます。  
住まいに縛られることなく自分らしい生き方に、  
住まいを合わせていく。  
そんな自由で豊かな暮らしを実現するために、  
わたしたちは、家族のこと、  
資産のこと、社会のこと  
あらゆることを考え抜き、最適な答を  
ご提案いたします。



各種資料のご請求・お問い合わせ先  
下記電話番号またはメールアドレス宛にお問い合わせください。  
TEL: **03-6899-3010** (土日祝除く9:00~18:00)  
FAX: **03-6899-3400**  
✉ [j-koho@om.asahi-kasei.co.jp](mailto:j-koho@om.asahi-kasei.co.jp)  
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105  
神保町三井ビルディング7階  
旭化成ホームズ株式会社 広報室  
※当社個人情報お取り扱いに関しては下記サイトを  
ご覧ください。  
[https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html?link\\_id=AH\\_footer28](https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html?link_id=AH_footer28)

## 住宅が欲しい

ロングライフ思想を掲げて半世紀。  
良質で長持ちする注文住宅や既存住宅をご提供いたします。



注文住宅

### ヘーベルハウス

都市型住宅の先駆者。理想のマイホームを  
フルオーダーメイドで建てるができます。



既存住宅

### ストックヘーベルハウス

暮らしの安心と快適を実現する  
もうひとつの住まいの選択肢です。

## 部屋を借りたい

高い居住性能と充実した設備を兼ね備えた賃貸物件をご提供。  
暮らしにぴったりなお部屋がきっと見つかります。



お部屋探し

### ヘーベルメゾン

様々なライフスタイルにあわせた物件を  
取り揃えています。



お部屋探し(シニア向け)

### ヘーベルVillage<sup>ヴィレッジ</sup>

介護施設ではなく、自立して暮らせる  
シニア向けの賃貸住宅をお探し頂けます。

## 土地を活用したい

相続税対策や資産形成など、目的にあわせて  
最適な土地活用プランをご提案させていただきます。



賃貸住宅

### ヘーベルメゾン

高い防災力をもつ安全安心な  
賃貸住宅経営。  
狭小の住宅地から大規模な  
敷地まで対応可能です。



賃貸住宅(シニア向け)

### ヘーベルVillage<sup>ヴィレッジ</sup>

超高齢社会のニーズを捉えた  
賃貸住宅経営。  
土地活用をととして社会に  
貢献できます。



中高層ビルディング

### ヘーベルビルズ

最大8階建ての中高層  
ビルディングの賃貸経営。  
賃貸マンション・店舗・  
オフィスなどへ展開可能です。

# Good Neighbor Wood

森と人は、良き隣人になろう。

もっと高く、もっと速く。

何と競っていたのだろうか。

世界が成長することは、二酸化炭素を出すことでした。

ここから変わる。

木から離れた人間は、もう一度木に戻る。

二酸化炭素を減らすには、木の力が本当に必要だから。

森と良き隣人になろう。

木の力と人の力で、互いに長く生きてみよう。

それは今あなたが思う幸せに、

案外近いのではないだろうか。

木と生きる幸福

 住友林業

ポラスの分譲住宅



森空の舞台-柏-【モリソラのステージ】撮影日：2025年8月  
※一部加工を施しています。

# 休日は、 ポラスを歩こう。

家探しをはじめたら、街歩きをしてみてください。

あんな街やこんな街。ポラスは暮らしの価値観でデザインしているから、自分に合う街を歩くと、自然と暮らしのイメージがふくらみます。それは、どこで暮らす？じゃなく、どう暮らす？の家探し。気軽に、お散歩気分で、想いにマッチする街を見つけにきてください。

📍 会話がはずむ街

📍 休日を過ごしたくなる街

📍 ふれあって育つ街



ポラスの分譲住宅 🔍

2025.10.1(水)～11.30(日)



住まい価値創造企業  
**POLUS**  
ポラスグループ

ポラス株式会社 埼玉県越谷市南越谷 1-21-2 048-989-9151

時を経ても、続く価値を。  
**SEKISUI HEIM**  
 Unit Technology for the Future

目指すのは  
 全邸、最高品質。  
 工場にしかできない  
 家づくりをやるろう。

家の大半を  
 雨に濡れない屋根の下で  
 大切につくる。

セキスイハイムは、家づくりの大半を工場で行っています。

工場内では部材や躯体を雨に濡らすことなく、安定した作業環境を維持。

大型機械などの先進技術を駆使し、工程別の管理や品質チェックを

人と技術の力を組み合わせながら行います。

この独自の生産方法で、全ての邸でいちばんの品質を目指します。



世界にまた新しい世界を。 **SEKISUI** 積水化学工業株式会社 住宅カンパニー  
 A new frontier, a new lifestyle. 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4 (オークラブプレステージタワー)

私たちセキスイハイムグループは、お客様情報の適正な取り扱いに努めています。下記URLをご参照くださるか、お電話にて窓口までお問い合わせください。  
 ▶ホームページ: [www.sekisuiheim.com](http://www.sekisuiheim.com) ▶お問い合わせ先: 0120-369-816

# 繰り返す地震から、日本の家を 守る「要石」。

かなめいし

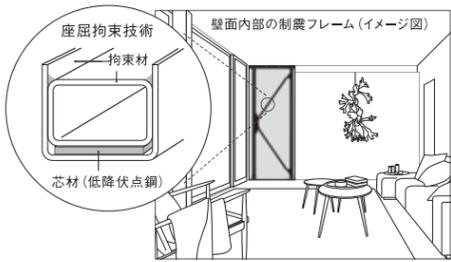


地中の大なまずを鎮め、江戸の人々の心も支えた神秘の石。地震大国・日本。歴史的に多くの地震に見舞われてきたこの国では、かつて、地中にすむ大なまずが地震を起すこと信じられていました。江戸時代に発生した安政の大地震直後には、その大なまずを「要石」で押さえつけて地震を封じる、という民俗信仰をモチーフにしたなまず絵が流行。そのユーモラスな表現が、江戸の人々の地震への不安をやわらげたと言われています。

住まいの見えない場所で、

今のくらしに安心を届ける制震構造。

そして現代もまた、大きな地震への不安が高まっている時代。住まいづくりに携わる企業として、私たちも見えない場所に安心を宿したい。そんな思いから、パナソニックホームズ独自の座屈拘束技術は生まれました。耐震性能を追求する中で本来は超高層ビルに採用される制震構造を、常識を覆す発想で住宅の構造に転用。「引張」に強い芯材(低降伏点鋼)を「圧縮」でも曲がらないよう拘束材と組み合わせた複合型斜材を開発し、この見えない技術で、繰り返す地震の揺れから歪みを防ぐ強い家を実現しました。事実、これまでの大地震でも倒壊ゼロの実績を誇っています。歴史的に多くの大地震に見舞われてきたこの国だからこそ、地震への対策方法は進化してきました。いつか以上に地震への不安が小さな時代になるように。パナソニックホームズの挑戦はこれからも続きます。



パナソニックホームズの座屈拘束技術

特許6068578



「地震に強い家」の秘密はこちら

Panasonic Homes

未来をまちづくり PLT Group

パナソニックホームズ株式会社